FMV

FMV SERIES

取扱説明書

DVD マルチドライブユニット（USB）
(FMDVM-211)

VQT0E99-01

FUJITSU

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会が定める高調波ガイドラインの適合品です。

お知らせ

■不適切な接続、および取り扱いにより生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
■重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態でバックアップ（複製）を行ってください。

お気をつけください

個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」といいます）を目的とする場合を除き、あなたが著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製することは著作権法で禁じられています。
また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計･製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命･身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
●原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

リサイクルについて

■本装置の廃棄について

本装置を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- 法人·企業のお客様へ

  本装置を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通リサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

- 個人のお客様へ

  本装置を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■富士通リサイクルシステムについて

弊社では1998年より、法人·企業のお客様から廃棄されるコンピュータ周辺機器を「富士通リサイクルシステム」(有料)にて回収·リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

お問い合わせ／お申し込み先: http://eco.fujitsu.com の「富士通リサイクルシステム」をご参照ください。

なお、法人·企業以外のお客様はお申し込みできません。

特　長

USB2.0インターフェースに対応（ ☞ 18ページ）

USB2.0は、USB1.1の後継規格でHigh スピード（理論値 480 Mbps）とFull スピード（理論値 12 Mbps）の両方の転送速度に対応しています。

多彩なメディアに対応（ ☞ 10ページ）

■DVD-RAM 片面 4.7 GB、両面 9.4 GBの大容量記録。2倍速記録・再生。

■DVD-R （for General, Ver.2.0）の記録・再生。2倍速記録。

■DVD-RW（Ver.1.1）の記録・再生。

■CD-R／RW の記録・再生。

■本書内での各メディアのマーク

DVD-RAM：DVD-RAM　DVD-R：DVD-R　DVD-RW：DVD-RW　CD-R：CD-R　CD-RW：CD-RW

アプリケーションソフトを付属

■CD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフト（RecordNow DX ☞ 43ページ）

オリジナルのデータ CD/DVD、オーディオ CD などの作成、CDやDVDをまるごとバックアップするなど多彩な機能を備えたCD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフトウェアです。

■CD-RW、DVD-RW パケットライティングソフト（DLA ☞ 43ページ）

CD-RW/DVD-RW ディスクにファイル単位でデータを書き込むためのソフトウェアです。

■簡易バックアップソフト（FileSafe ☞ 45ページ）

指定したフォルダを自動的にバックアップしたり、内容変更されたフォルダのみをDVD-RAM ディスクにバックアップするソフトウェアです。

本書内の画面表示については、Windows XPの画面を代表例としている場合があります。

もくじ

はじめによくお読みください

使う前の準備

使いかた

もっと使いこなしたいとき

もし必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

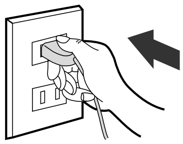
電源コード・ACアダプターについて

ACアダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、布をかぶせたりしない］

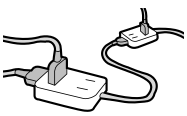
傷んだまま使用すると、感電·ショート·火災の原因になります。
- AC アダプターおよびコードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



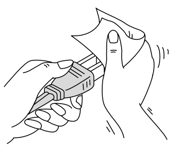
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

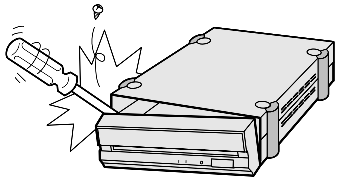
感電の原因になります。

⚠警告

ご使用について

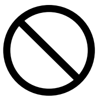
本機やAC アダプターの分解や改造は絶対にしない(本体カバーを外すなど)

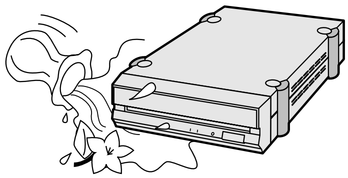

分解禁止



火災や感電の原因になります。
- 修理は販売店にご相談ください。

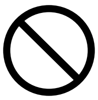
水をかけたり、ぬらしたりしない

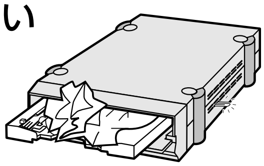




本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

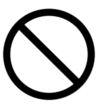
本機の内部に金属類や燃えやすいものを入れない

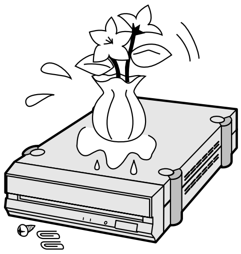




火災や感電の原因になります。

本機上面や近くに液体容器や金属類を置かない

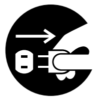


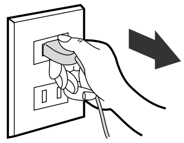


本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く！


電源プラグを抜く



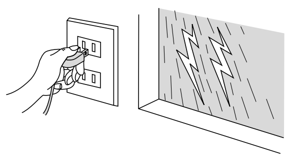
- 液体・異物などが内部に入ったら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！
- 落としたりして破損したら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！
- 煙が出たり変な臭いや音がしたら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、ショートして、火災や感電の原因になります。
- 修理は販売店にご相談ください。

雷について

雷が鳴りだしたら、電源プラグ、AC アダプターや本機の金属部に触れない


接触禁止



感電の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

設置・接続について

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない

本機の内部温度が上昇して、火災の原因になります。

湿気やほこりの多い場所や加湿器のある場所に置かない

火災や感電の原因になります。

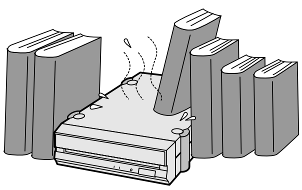
振動や衝撃のある場所や傾斜した場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

付属のAC アダプター以外は使わない

他のAC アダプターを使用すると、火災の原因になります。

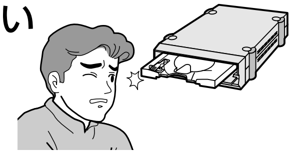
重たいものを載せたり、通風孔をふさぐような風通しの悪い場所に置かない



本機の内部温度が上昇して、火災の原因になります。

ご使用について

シャッターのすき間から内部をのぞき込まない



内部のレーザー光線を直視すると、視力障害を起こす原因になります。

ディスクの回転中に本体を動かしたり、持ち上げたりしない

ディスクを傷つける原因になります。

ひび割れや変形補修したディスクは使用しない

本機の内部で飛び散って、けがの原因になります。

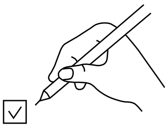
トレイに手を入れ、挟まれないよう注意する

指に注意　けがの原因になります。

電源コードの抜き差しは、電源プラグを持つ

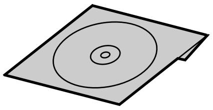
コードを引っ張るとコードが傷ついたり、ちぎれたりして、火災や感電の原因になることがあります。

付属品のご確認

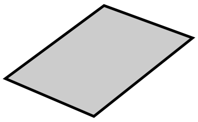


必ず確かめてください。

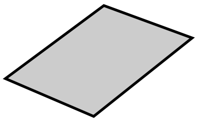
□ CD-ROM
- アプリケーションソフト
- DVD-RAMドライバーソフト



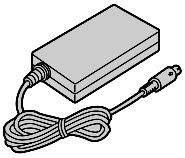
□ 取扱説明書（本書）



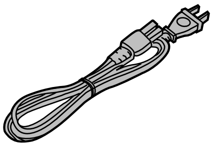
□ 保証書



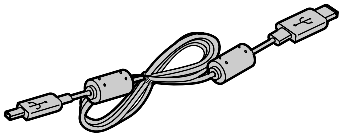
□ ACアダプター



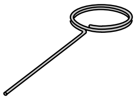
□ 電源コード



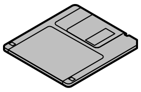
□ USBケーブル



□ 強制イジェクトピン



□ フロッピーディスク
- Windows 98SE USB ドライバーソフト



※本書を最後までよくお読みいただき、使用目的に応じて必要な物を別途ご準備ください。

- Windows、Windows NT、Internet Explorer は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。（Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。）
- Photo CD は米国イーストマン・コダック社の商標です。
- Adobe®およびAcrobat®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

使用できるディスクについて

DVDメディア

■ディスクの種類とデータ転送速度

1倍速＝1,385 kB/sec

ディスク		書き込み速度	読み出し速度
DVD-RAM	9.4 GB（両面）、4.7 GB（片面）	2倍速	2倍速
	5.2 GB（両面）、2.6 GB（片面）	1倍速	1倍速
	2.8 GB（両面）、1.4 GB（片面）	2倍速	2倍速
DVD-ROM	シングルレイヤー	−	最大12倍速
	デュアルレイヤー	−	最大6倍速
DVD-Video		−	最大6倍速
DVD-R	4.7 GB（for General, Ver. 2.0）	2倍速/1倍速	最大6倍速
	4.7 GB（for Authoring, Ver. 2.0）	−	最大6倍速
	3.95 GB（for Authoring, Ver. 1.0）	−	最大6倍速
DVD-RW	4.7 GB Ver. 1.0	−	最大6倍速
	4.7 GB Ver. 1.1	1倍速	最大6倍速

※データ転送速度は、USB2.0接続時の場合です。

DVD-RAM： 繰り返してデータの書き込みができる（リライタブル）DVDです。

DVD-ROM： 読み出し専用のDVDです。映画などの映像を記録したものがDVD-Videoです。

DVD-R： 一度だけ書き込みが可能なDVDです。記憶容量が片面3.95 GBのVer. 1.0規格と、片面4.7 GBのVer. 2.0規格があります。

DVD-RW： 書き込んだデータ全体または最後のボーダーが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能なDVDです。

■DVD-R/RWの書き込み方式

ディスクアットワンス： ディスク全体に一度にまとめてデータを書き込む方式です。後から追加書き込みをすることはできません。

インクリメンタル： データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式です。パケットライト方式で記録をするソフトはパケットライトソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じようにファイル単位での書き込みが可能となります。

CDメディア

■ディスクの種類とデータ転送速度

1倍速＝150 kB/sec

ディスク		書き込み速度	読み出し速度
CD-ROM		−	最大32倍速
CD-R		12倍速/8倍速/4倍速	最大32倍速
CD-RW	1−4倍速	4倍速	最大24倍速
	4−12倍速（High Speed）	8倍速/4倍速	

※データ転送速度は、USB2.0接続時の場合です。

CD-ROM：　読み出し専用のCDです。

CD-R：　一度だけ書き込みが可能なCDです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追加書き込みが可能です。

CD-RW：　書き込んだデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能なCDです。

■CDの対応フォーマット

CD-DA (音楽CD)：音楽CDのフォーマットです。

CD-ROM Mode1：デジタルデータを記録するためのフォーマットです。

CD-ROM XA Mode2：マルチメディアに適したフォーマットで、データと音声・画像を混在させたフォーマットです。

CD-Extra：　1つ目のセッションにオーディオデータを書き込み、2つ目以降のセッションにXA Mode2のデータを記録するフォーマットです。

CD TEXT：　音楽CDにアルバムタイトルや曲名などの文字情報を記録するフォーマットです。

Photo CD：　写真のイメージデータをCD-ROMに記録し、家庭用テレビで再生したり、コンピュータで使用したりするためのもので、Kodak社が開発したフォーマットです。

Video CD：　映画などの動画をMPEG1方式で圧縮してCDに収めたタイトル、またはそのフォーマットのことです。

■CD-R/RWの書き込み方式

ディスクアットワンス：　ディスク全体に一度にまとめてデータを書き込む方式です。後から追加書き込みをすることはできません。

トラックアットワンス：　トラック単位でデータを書き込む方式です。ディスクに空き容量が残っている限り、最大99回までの追加書き込みが可能です。

セッションアットワンス：　セッション(リードイン+データ+リードアウト)単位でデータを書き込む方式です。

マルチセッション：　データの記録単位である「セッション」が複数記録されており、記録開始の目印である「リードイン」、データ本体、および記録終了の目印である「リードアウト」で構成されています。

パケットライト：　データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式です。パケットライト方式で記録をするソフトはパケットライトソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じようにファイル単位での書き込みが可能となります。

下記メーカー製のディスクを推奨します。

DVD-RAM：　富士通サプライ品、松下電器産業（株）、日立マクセル（株）

DVD-R for General：　松下電器産業（株）、太陽誘電（株）、三菱化学（株）

DVD-RW：　日本ビクター（株）、TDK（株）

CD-R：　富士通サプライ品、太陽誘電（株）、三菱化学（株）、（株）リコー、日立マクセル（株）、三井化学（株）

CD-RW：　富士通サプライ品、三菱化学（株）、（株）リコー

※ 富士通サプライ品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。お問い合わせ：03-3342-5375

使用上の願い

本機の取り扱いについて

■設置するときは

- 棚の上など、高いところには置かない。
- 本機及びケーブルの端子部分に触れない。
（故障の原因になります）
- 水平または垂直で使用する。（垂直方向で使用する場合は、故障の原因になるため、転倒しないよう安定な場所に設置してください）

■移動や輸送するときは

- 移動するときは、必ずディスクを取り出し、電源を切って、ACアダプターなどのコード類をすべて外す。
- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時のパッキングケースに入れる。
- 移動や輸送するときは、落としたり、ぶつけたりしない。

■長期間使用しないときは

- 節電のため本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。
（本体の電源スイッチを切った状態でも、約1 W の電力を消費しています）

■使用するときは

- 本機を動作中に動かさない。
（故障の原因になります）
- トレイを出したまま放置しない。
（内部にほこりが入り、故障の原因になります）
- トレイにDVD-RAM ディスク、指定のディスク以外のものを装着しない。
（故障の原因になります）
- 8 cmディスクを使用するときは市販の8 cm アダプターは使用しない。
- シャッターを押さえた状態で、トレイの出し入れをしない。（故障の原因になります）
- 無理にシャッターを開けない。
（故障の原因になります）
- 本機に磁石など磁気を持つものを近づけない。（磁気の影響で、動作が不安定になることがあります）
- 本機が結露した状態で使用しない。
[寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になります。ディスクを取り出し、約1時間放置した後、ご使用ください]
- 揮発性の殺虫剤などがかからないようにする。
（外装ケースの変形や塗装がはげる原因になります）
- 隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは 2 m以上離すか、コンセントを別にする。

お手入れについて

■レンズ、ディスクのお手入れについて

- 長時間使用すると、本機のレンズ、ディスクにほこり等が付着して、正常に読み書きできなくなるおそれがあります。
使用環境や使用回数によって異なりますが、別売の専用クリーニングキットを用いて、約1年に一度お手入れすることをおすすめします。
- ご使用になっているDVD-RAM ディスクの汚れの状態などを、簡易的にチェックするユーティリティを付属のCD-ROM に準備しております。（☞ 41ページ）
このユーティリティは、あくまで汚れの程度の目安としてお使いいただくもので、チェックの結果が、データの記録を保証するものではありませんのでご了承願います。

■本機表面のお手入れについて

- 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- よごれはやわらかい乾いた布で軽くふき取る。
- よごれがひどいときは、うすめた台所用洗剤（中性）に布をひたし、よくしぼってからふく。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。

■トレイ部のお手入れについて

- カートリッジなしディスクおよびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクをよくお使いになり、本機のトレイ部の汚れがひどいときは、ディスクのクリーニングとあわせてトレイ部の清掃をお願いします。
- トレイ部の汚れは、やわらかい乾いた布で清掃してください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

クリーニングキット（松下電器産業(株)製）

LF-K123LCJ1（DVD-RAM/PD レンズクリーナー）
LF-K200DCJ1（DVD-RAM/PD ディスククリーナー）

ディスクの取り扱いについて

- 正しく取り扱いをしないとデータの書き込みが正常に行われない、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、などの障害が発生する場合があります。
- 4.7 GB DVD-RAM ディスクのカートリッジなし、およびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクや8 cm DVD-RAM ディスク、DVD-R（for General）、DVD-RW（4.7 GB Ver.1.1）、CD-R、CD-RWディスクをご使用の際は本説明書やご使用のディスクの取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。
- 本機に装着したDVD-RAM ディスクにフォーマットや記録ができない場合、いくつかの原因が考えられます。詳細は42ページをご覧ください。
- 大切なデータの記録や再生を行う場合には、カートリッジ・タイプのDVD-RAM ディスクのご使用をおすすめいたします。
  カートリッジなしディスクおよびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合がありますのでご注意願います。
- 本製品の使用により、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  重要なデータに関しては、万一に備えてバックアップ（複製）を行ってください。

DVD-RAM ディスクの種類

DVD-RAM ディスクは、「記録できるDVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。

- **TYPE1**…カートリッジからのディスクの取り出しはできません。
- **TYPE2**…片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **TYPE4**…両面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **カートリッジなし**

今後発売予定のDVD-RAM ディスクが再生可能なDVD-ROM ドライブやDVD プレーヤーでは、TYPE2、TYPE4またはカートリッジなしをお使いください。

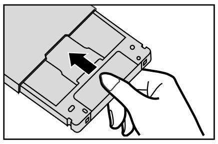
TYPE1、TYPE2、TYPE4 DVD-RAMディスク

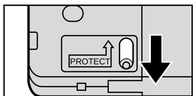
次のようなところには置かない

- ごみやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所。
- 温度差の激しい場所。（結露が生じます）

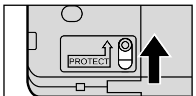
取り扱い上のお願い

- ディスクの表面に触れない。
- 落としたり、曲げたり、重いものを載せない。
- はがしたラベルを再度貼らない。
- 使用しないときは、ケースに入れて保管する。
- ハードディスクやフロッピーディスクと同じように、定期的にバックアップ（データの複製）を行う。
- 大切なデータを保護するときは「書き込み禁止」にする。





書き込み可能



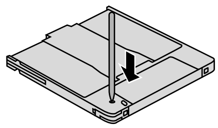
書き込み禁止

※13～16ページのDVD-RAM ディスクのイラストは一例です。詳しくは、ご使用になるディスクの取扱説明書をご覧ください。

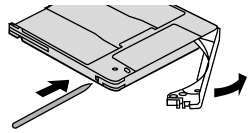
ディスクの取り扱いについて

TYPE2カートリッジからディスクを取り出すときは

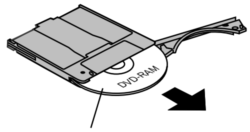
1 **カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く**



2 **カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける**



3 **表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す**



ディスクを収納するときは

- カートリッジのデザイン面とディスクのレーベル面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じたあとにライトプロテクトの設定に注意してください。

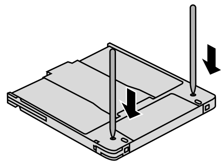
取り扱い上のお願い

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
- ディスクを取り出したあとのカートリッジにはDVD-RAM以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等が付かないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。
- レーベル面への文字の書き込みは柔らかい油性フェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。
- ディスクにはラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤等を使用しないでください。
- ディスクがよごれた場合は、別売の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。
- ディスクを落下させたり、曲げたりしないでください。

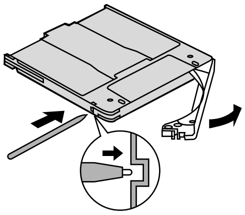
ディスクの取り扱いについて

TYPE4カートリッジからディスクを取り出すときは

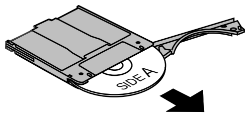
1 カートリッジのロックピン（2ケ所）を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く



2 カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける



3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す



ディスクを収納するときは

- カートリッジのA面とディスクのSIDE Aを同じ向きにしてカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じたあとにライトプロテクトの設定に注意してください。

取り扱い上のお願い

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
- ディスクを取り出したあとのカートリッジにはDVD-RAM以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等が付かないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。
- ディスクにはラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤等を使用しないでください。
- ディスクがよごれた場合は、別売の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。
- ディスクを落下させたり、曲げたりしないでください。

使用上のお願い（つづき）

ディスクの取り扱いについて

カートリッジなしDVD-RAM 、DVD-R（for General)、DVD-RW（4.7 GB Ver.1.1)、CD-R、CD-RW ディスク

次のようなところには置かない

- ごみやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。
- 温度差の激しい場所。（結露が生じます）

取り扱い上のお願い（※印の注意文は、DVD-RAMのみに適用されます）

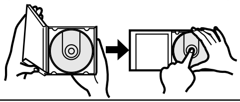
- ディスクをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときは、ディスクのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。
- ディスクは、指でディスク中央の穴の部分と外側をはさむようにして持ってください。
- ディスクの記録面に触らないでください。
  ディスクは、印刷がされていないほうが記録面です。
- ディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。
  また、落としたり、曲げたり、紙を貼ったりしないでください。（書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因になります）
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の硬いものは、使用しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、別売の専用クリーナーでクリーニングしてください。
  ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りクリーナー等、指定以外のものは使用しないでください。
- キズや汚れからディスクを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケース、またはカートリッジに収めてください。
- ディスクを落としたり、重ねたり、また、ディスクにものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。ディスクに無理な力を加えると、データの信頼性が保てなくなります。

※● 大切なデータを保護するときは、必ずライトプロテクトを設定してください。ライトプロテクトを設定するには、付属の CD-ROM に準備されているユーティリティをお使いください。(☞40ページ)

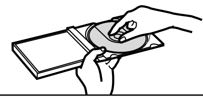
※● TYPE2カートリッジから取り出した状態の2.6 GB DVD-RAM ディスクへは記録することができません。記録するときは、カートリッジに入れた状態でご使用ください。

- ディスクのドライブへの入れ方は、ＣＤ や DVD-ROM ディスクと同じ方法でトレイへセットしてください。

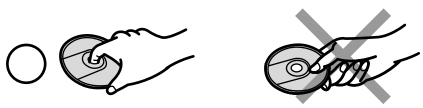
ケースからの出しかた
（中心部を押さえて取り出す）



ケースへの入れかた
（ラベル面を上から押さえて入れる）



持ちかた（ラベル印刷面の反対面に触れない）



DVD-ROM、CD-ROMなどのディスク

次のようなところには置かない

- 温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所。
- 温度差の激しい場所。（結露が生じます）

取り扱い上のお願い

- 汚したり、傷つけたりしない。
- 落としたり、曲げたりしない。
- 字を書いたり、紙を貼らない。
- ケースからの出しかた、ケースへの入れかたについては上記カートリッジなしDVD-RAMディスク等と同じです。

汚れたときは（水を含ませた柔らかい布でふいた後、乾いた布でふく。必ず内から外へふく。）



各部のなまえとはたらき

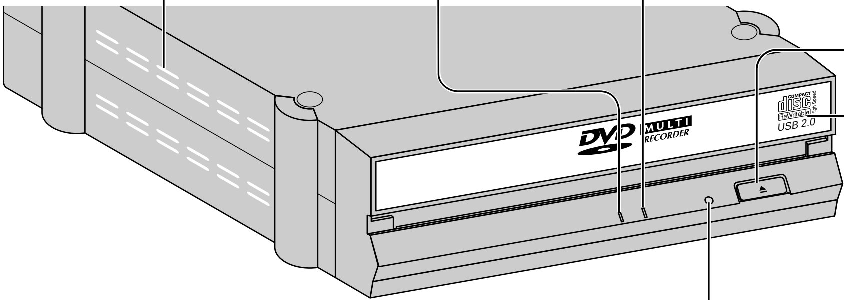
本機前面

通風孔（左右側面）
本機の内部温度の上昇を防ぐために設けた穴です。設置するときは、この穴をふさがないでください。**（故障の原因になります）**

電源ランプ
消　灯：電源「切」
緑点灯：電源「入」

動作表示ランプ
消　灯：ディスク未セット時
緑点灯：ディスクセット時
橙点灯：記録時･再生時･トレイ開閉時
緑点滅：エラー発生時（☞48ページ）

開閉ボタン
トレイを出し入れする。



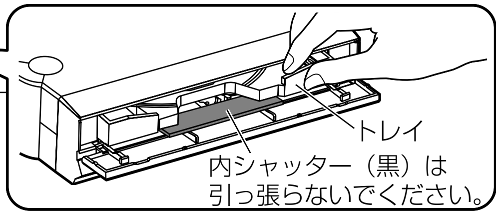
シャッター

強制イジェクトホール

トレイが出なくなったときに使用します　<u>**通常は使用しないでください。（故障の原因になります）**</u>

■トレイの引き出しかた
① 必ず本機の電源を切る
② 強制イジェクトピン（付属）を4～5回押し込む
徐々にトレイが出てきます。
③ 強制イジェクトピンを抜き取る
④ トレイの端を指先で水平に引き出す
内シャッター（黒色）は引っ張らないでください。（故障の原因になります。）

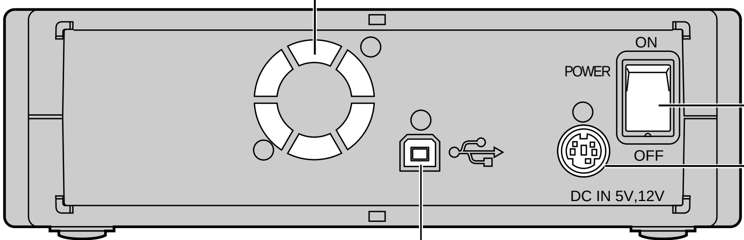
■引き出したトレイの戻しかた
① 本機の電源を入れる
② 開閉ボタンを押す
（引き出し位置によっては電源を入れると同時にトレイが戻るときもあります）



本機後面

冷却ファン
本機の内部温度が上昇すると、回転する。**（通常は回転しない）**

電源スイッチ
電源を「切」「入」する。



USBコネクタ
USBケーブル（付属）を接続する。
（☞ 19ページ）

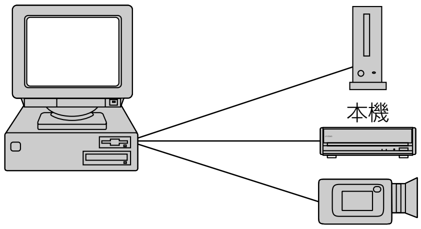
DC 入力端子
ACアダプター（付属）を接続する。（☞ 19ページ）

接続

USB 接続について

本機は、**USB2.0**に準拠した装置です。
- USB2.0は、USB1.1の後継規格でHigh スピード（理論値 480 Mbps）とFull スピード（理論値 12 Mbps）の両方の転送速度に対応しています。
- 従来の USB1.1でも使用可能で、パソコンの電源を切らずにケーブルを抜き差しできるホットプラグインにも対応しています。
- USBインターフェース用の端子は「•⊸」と表示されている機器もあります。

■USB接続例



- 必ず付属の USBケーブルをご使用ください。これ以外のケーブルは動作保証されていません。
- USBハブ経由での接続は、動作保証されていません。
- USB1.1対応ハブ経由でパソコンUSB2.0インターフェースに接続した場合、USB1.1（最大12 Mbps）の性能となります。

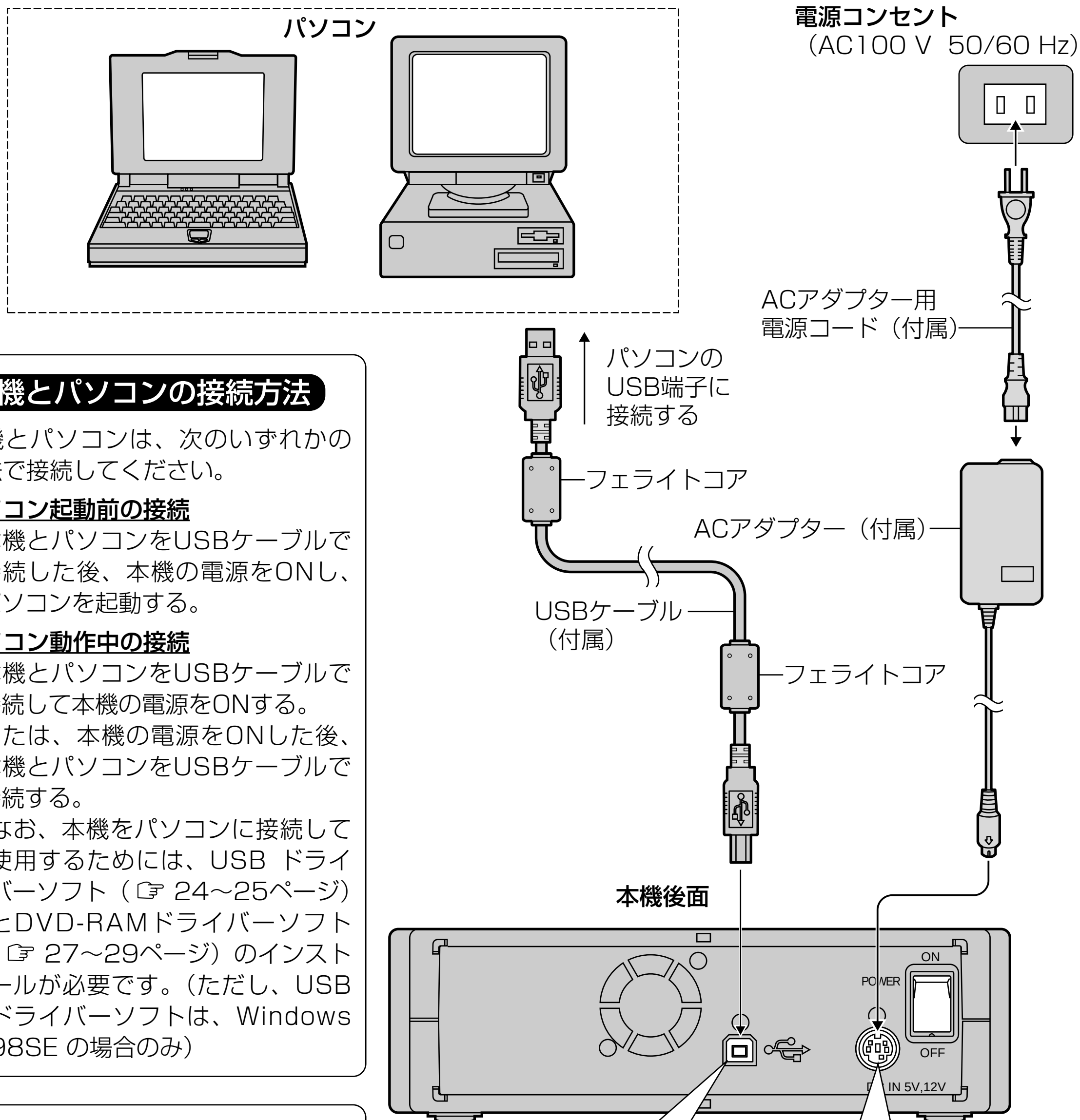
お知らせ

- パソコンの性能や、再生するディスクの種類、状態によっては、USB2.0、USB1.1環境それぞれで実現可能な書き込み速度、読み出し速度が使用できない場合があります。
- USB1.1インターフェース環境で接続された場合は、CD-R/RW への書き込みや、CD-RW の書き換え、CD-R/RW の読み込みは4倍速が限度となります。
  また、DVD-R/RW の書き込み、書き換えは1倍速未満の性能となり、記録した画像にリンギングやブロックノイズが多発する可能性があります。
  DVD-Video 再生のときもこま落ちやブロックノイズが発生することがあります。
- DVD-R への書き込み、DVD-RW の書き換え、8倍速以上でのCD-R への書き込み、CD-RW の書き換え、DVD-Video の再生は USB2.0でご使用ください。

接続のしかた

接続する前に

- 接続する装置の説明書もよくお読みください。
- 接続用のケーブル類は、正しい向きで確実に差し込んでください。



本機とパソコンの接続方法

本機とパソコンは、次のいずれかの方法で接続してください。

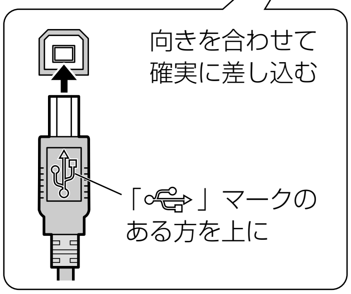
パソコン起動前の接続

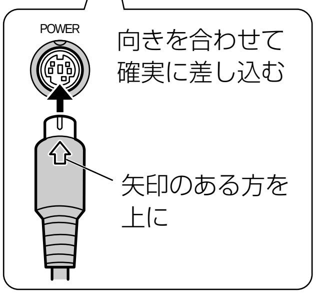
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続した後、本機の電源をONし、パソコンを起動する。

パソコン動作中の接続

- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続して本機の電源をONする。
  または、本機の電源をONした後、本機とパソコンをUSBケーブルで接続する。

※ なお、本機をパソコンに接続して使用するためには、USB ドライバーソフト(☞ 24〜25ページ)とDVD-RAMドライバーソフト(☞ 27〜29ページ)のインストールが必要です。(ただし、USBドライバーソフトは、Windows 98SE の場合のみ)





お願い

- 付属のACアダプターと電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- USBケーブルは必ず付属のケーブルを使用してください。
  これ以外のケーブルは動作保証されていません。

ディスクの入れかた

本機を横に設置した場合

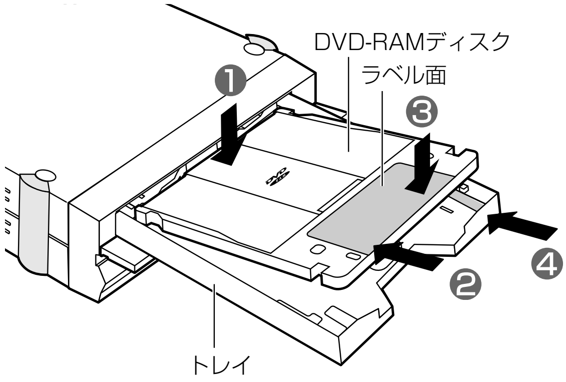
■DVD-RAM ディスク

❶DVD-RAM ディスクのシャッターの印刷面側を上にしてトレイに置く

❷DVD-RAM ディスクを前方（ドライブ側）へ2 cmほど押す

❸DVD-RAM ディスクのラベル面側を軽く押さえ、浮きのないようにトレイにセットする

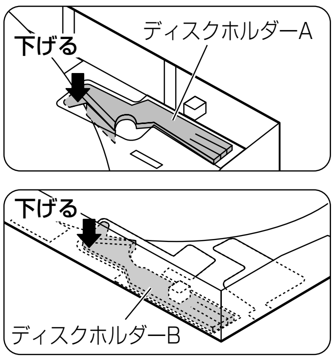
❹開閉ボタンまたはトレイの前面右側を軽く押すと、トレイが中に入る



■カートリッジなしDVD-RAM、DVD-R などのディスク

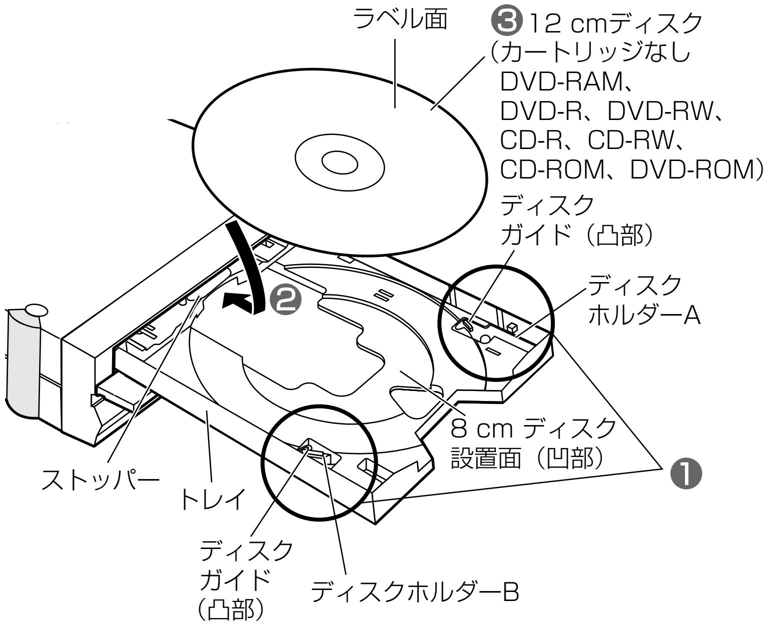
- 8 cm ディスクは、トレイの内側のディスク設置面（凹部）にセットしてください。
- 12 cm ディスクは、先端をストッパーの下に入れ、左右のディスクガイド（凸部）の内側にセットしてください。
- ディスクをディスクガイドの上に載せたりするなど正しくセットしていない場合は、正常に動作しません。また、ディスクを損傷させる原因となります。
- 8 cm DVD-RAM ディスクを本機に入れる場合、必ずカートリッジから取り出して、裸の状態にしてください。ディスクの取り出しかたは、ご使用のディスクの取扱説明書をご覧ください。

❶ディスクホルダーA、Bをトレイ面と同じ高さになるよう下げる



❷ディスクの先端をストッパーの下に入れる

❸ディスクをトレイのディスクガイドに合わせてセットする



使用できるディスク

	横に設置	縦に設置
12 cm ディスク	○	○
8 cm ディスク	○	×

本機を縦に設置した場合

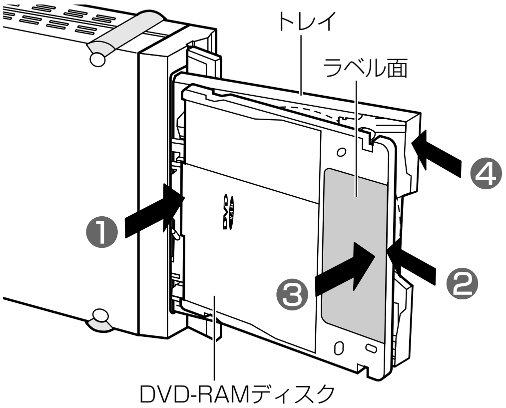
■DVD-RAM ディスク

❶DVD-RAM ディスクのシャッターの印刷面側を上にしてトレイに置く

❷DVD-RAM ディスクを前方（ドライブ側）へ2 cmほど押す

❸DVD-RAM ディスクのラベル面側を軽く押さえ、浮きのないようにトレイにセットする

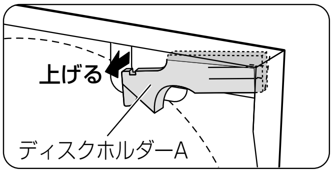
❹開閉ボタンまたはトレイの前面上側を軽く押すと、トレイが中に入る

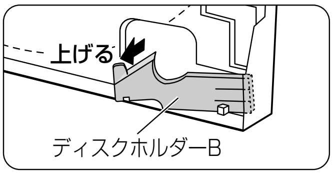


■カートリッジなしDVD-RAM、DVD-R などのディスク

8 cmディスクは使えません。（市販の8 cmアダプターにつけても使えません）

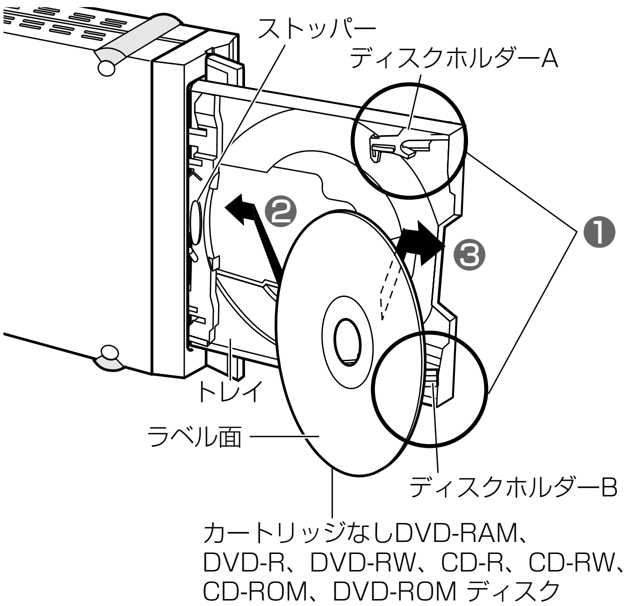
❶ディスクホルダーA、Bをトレイ面より上に上げる





❷ストッパーとトレイ間にディスクを斜めに挿入して、ディスクをストッパー側に1 cmほど押す

❸その状態でディスクをディスクホルダーA、Bとトレイの間にセットする



お願い

- 動作表示ランプ点灯中（橙）は、パソコンの電源を切ったり、ディスクを取り出さないでください。データが壊れたり、正しく書き込まれないおそれがあります。
- トレイにディスク（12 cm、8 cm）を2枚以上同時にセットしないでください。ディスクに傷がつきます。また、本機の故障の原因にもなります。
- 縦置きのディスクホルダー使用の際は、ディスクホルダーに確実にディスクをセットしてください。セットが不確実な状態でトレイを閉じるとディスクを損傷させる原因となります。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールする前に、下記の「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
「ソフトウェア使用許諾契約書」に合意いただけた場合のみ、本ソフトウェアをお使いいただけます。
また、本ソフトウェアのインストールを実行した場合は、「ソフトウェア使用許諾契約書」に合意いただいたものといたします。

ソフトウェア使用許諾契約書

第1条　権　利

お客様は、本ソフトウェア（付属のCD-ROMや本書などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピュータ

本ソフトウェアは、コンピュータ1台に対しての使用とし、複数台のコンピュータで使用することはできません。

第5条　変更及び改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第6条　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアに関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　免　責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。

1. DVD-RAM ドライバーソフト

DVD-RAM ディスクの読み書きを行うためのドライバーです。以下のユーティリティも含まれています。

■フォーマットソフト（DVDForm）

DVD-RAM ディスクをUDF形式やFAT32形式にフォーマットするソフトウェアです。

■DVD-RAM ディスクユーティリティ

DVD-RAM ディスクの汚れ具合確認とソフトウェアライトプロテクトの設定／解除をするソフトウェアです。

2. アプリケーションソフト

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。

（1）CD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフト（RecordNow DX ☞ 43ページ）

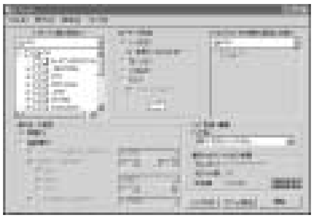
オリジナルのデータ CD/DVD、オーディオ CD などの作成、CDやDVDをまるごとバックアップするなど多彩な機能を備えたCD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフトウェアです。

（2）CD-RW、DVD-RW パケットライティングソフト（DLA ☞ 43ページ）

CD-RW/DVD-RW ディスクにファイル単位でデータを書き込むためのソフトウェアです。

（3）簡易バックアップソフト（FileSafe ☞ 45ページ）

指定したフォルダを自動的にバックアップしたり、内容更新されたフォルダのみを DVD-RAM ディスクにバックアップするソフトウェアです。
必要なファイルを効率よくバックアップすることができます。
バックアップされたファイルは、エクスプローラや各種アプリケーションで、そのまま使用できます。



3. 取扱説明書

本書のPDFファイルです。
必要に応じて参照してください。（取扱説明書 ☞ 26ページ）

USBドライバーソフトのインストール

Windows 98SE の場合、最初に USB ドライバーソフトのインストールが必要です。

1

<u>本機以外のCD-ROMドライブからのインストール</u>

付属のCD-ROM をセットする

（自動的にインストールプログラムが起動します）



- 自動的にインストールプログラムが起動しない場合は、以下の手順で 操作してください。（CD-ROM をセットしたドライブのドライブ名を 、E ドライブと仮定します）

❶ [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択する

❷ [名前] 欄に [e:¥setup.exe] と入力する

❸ [OK］をクリックする
（インストールプログラムが起動されます）

下の画面が表示されたら、[USBドライバー］をクリックする

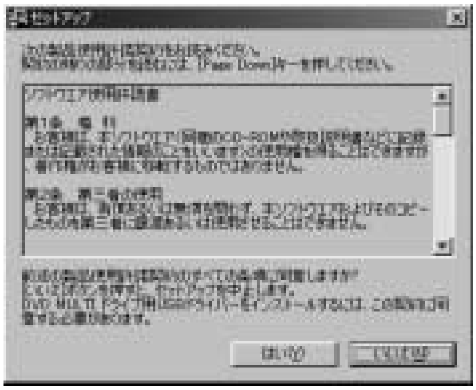


2

右の画面が表示されたら、
[OK］をクリックする



3 右の画面が表示されたら、[はい]をクリックする



4 Aの画面が表示された場合

[OK] をクリックする

- USBドライバーソフトのインストールが終了です。

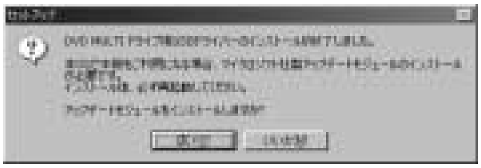
A



Bの画面が表示された場合

USBドライバーソフトのインストールは終了しましたが、マイクロソフト社製 Q242975 アップデートモジュールのインストールが必要です。

B



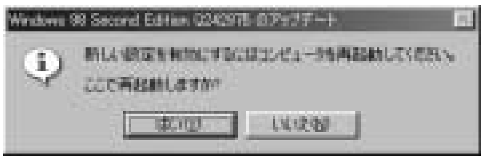
❶ [はい] をクリックする

- 画面の指示に従って作業を進めてください。

❷ 右の画面が表示されたら、[はい] をクリックする

(パソコンが再起動されます)

- Q242975 アップデートモジュールのインストールが終了です。



※フロッピーディスクからインストールする場合は、フロッピーディスクに格納されているREADME を参照してください。

ソフトウェアメニューの表示

1 付属のCD-ROM を本機にセットする

（自動的にインストールプログラムが起動します）

- 自動的にインストールプログラムが起動しない場合は、以下の手順で操作してください。
  （本機のドライブ名を、Eドライブと仮定します）



❶ ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］を選択する

❷ ［名前］欄に［e:¥setup.exe］と入力する

❸ ［OK］をクリックする
（インストールプログラムが起動されます）

2 下の画面が表示されたら、インストールするソフトウェアのボタンをクリックする

また、取扱説明書のボタンをクリックすると、PDFファイルの取扱説明書が参照できます。
(参照するにはAcrobat Readerが必要です。）



（☞ 27～29ページ）
（☞ 46ページ）
（☞ 44ページ）

※ Windows 98SE の場合は、USBドライバーボタンも表示されます。（☞ 24ページ）

DVD-RAM ドライバーソフトのインストール

お知らせ

- Windows Me では、DVD-RAM ドライバーソフトをインストールする前に本機を接続した状態でWindows をシャットダウンまたは再起動をしないでください。
- ご使用のパソコンに、本製品に付属されている DLA 以外の他社のパケットライティングソフトウェアやUDF ファイルシステムがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
  DVD-RAM ドライバーソフトを、DLA 以外の他社のライティングソフトと重複してインストールした場合は、正常に動作しないことがあります。
- DVD-RAM ディスクを使用する場合には、ディスクをセットする前にDLA を無効にしてください。DLA を無効にする方法については、DLA のヘルプ等を参照してください。
- Windows 2000 およびWindows XP では、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。
- DVD-RAM ドライバーソフトのインストール後、続けて付属のソフトウェアをインストールするときは、再起動の段階で[いいえ、あとでコンピュータを再起動します。]を選択し、最後にインストールするソフトウェアで[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択すると、再起動を1回だけにすることができます。

Windows 98SE/Me の場合

1 **26ページ手順2の画面で、[DVD-RAM ドライバー］をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする**



- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 **インストール終了後、**

❶ **[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択する**

❷ **［完了］をクリックする**

（パソコンが再起動されます）



- 再起動後に本機でのDVD-RAM ディスクの読み書きが可能となります。
- 30、31ページの「インストール後の確認」で、DVD-RAM ドライバーソフトが正常にインストールされたか確認してください。

DVD-RAM ドライバーソフトのインストール（つづき）

Windows 2000 の場合

1 26ページ手順2の画面で、「DVD-RAM ドライバー」をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする



● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 インストール終了後、［完了］をクリックする



3

❶ DVD-RAM デバイスの検出を行います



❷ DVD-RAM デバイス設定後、［はい］をクリックする

（パソコンが再起動されます）



4 インストール完了後、下の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

（パソコンが再起動されます）



● 再起動後に本機での DVD-RAM ディスクの読み書きが可能となります。
● 30、31ページの「インストール後の確認」で、DVD-RAM ドライバーソフトが正常にインストールされたか確認してください。

Windows XP の場合

1 26ページ手順2の画面で、
「DVD-RAM ドライバー」をクリックして、
右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

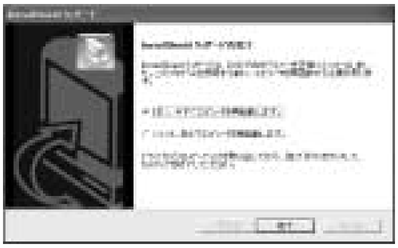


● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 インストール終了後、

❶ ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択する

❷ ［完了］をクリックする
（パソコンが再起動されます）



● 再起動後に UDF 形式の DVD-RAM ディスクの読み書きが可能となります。

お知らせ

DVD-RAM ディスクに書き込むためには、ドライブのプロパティで［このドライブで CD 書き込みを有効にする］をオフにする必要があり、本機では補助ツールでオフにすることができます。オンになった場合は、右下の画面が表示されますので［はい］をクリックしてください。
オフの状態では、Windows XP 標準の CD-R/RW ディスクへの書き込み機能は使用できません。CD-R/RW ディスクへ書き込みをするときは、［このドライブで CD 書き込みを有効にする］をオンにしてください。



補助ツールを無効にしたいときは：
［スタート］→［プログラム］→［スタートアップ］→［RAMASST］（右クリック）→［削除］を選択し、再起動する。

また、再度有効にしたいときは：
1 ［スタート］→［プログラム］→［スタートアップ］（右クリック）→［開く-All Users(P)］を選択し、スタートメニューを表示させる
2 スタートメニュー画面上のアイコンのないところで右クリックする。
3 ［新規作成］→［ショートカット(S)］を選択し、C:¥Windows¥System32¥RAMASST.exeを指定し、再起動する。



※補助ツールの有効/無効を設定するときは、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログインしてください。

インストール後の確認

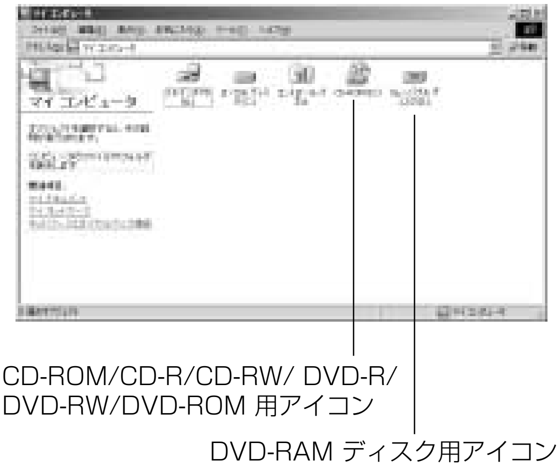
以下の方法で、本機が正常に認識されていることを確認してください。

■［マイコンピュータ］上での確認

Windows 98SE/Me/2000 の場合

本機の接続とドライバーソフトのインストールが正常に行われると、［マイコンピュータ］上にアイコンが追加されます。
右の画面例では、次のように認識されています。
Eドライブ：リムーバブルディスク
（DVD-RAM ディスク用）
Dドライブ：CD-ROM
（CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-R/
DVD-RW/DVD-ROM 用）

- 正常に表示されない場合、［表示］メニューの［最新の情報に更新］を選択してください。



Windows XPの場合

本機を接続すると、［マイコンピュータ］上にアイコンが追加されます。
右の画面例では、DドライブがDVD MULTI ドライブとして認識されています。

- 正常に表示されない場合、［表示］メニューの［最新の情報に更新］を選択してください。



■［デバイスマネージャ］上での確認

製品名は “DVD-RAM LF-D521” と表示されます。

Windows 98SE/Me の場合

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［システム］を開いて、［デバイスマネージャ］タブをクリックする。
右の画面（各装置の接続状況）が表示されます。

2 画面中の［CD-ROM］、［ディスクドライブ］を、それぞれダブルクリックする。



本機のCD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD-ROM側が認識されてい ます。

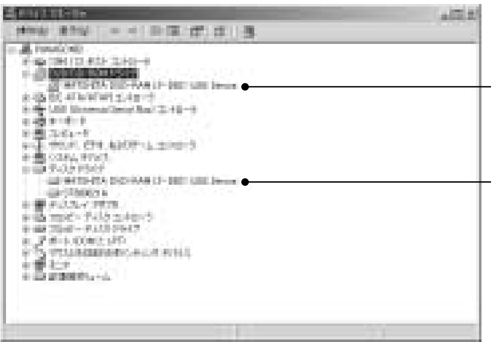
本機のDVD-RAM ディスク側が認識されています。

Windows 2000 の場合

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]を開いて[ハードウェア]タブをクリックする。

2 [デバイスマネージャ]欄の[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする。
右の画面（各装置の接続状況）が表示されます。

3 画面中の[DVD/CD-ROMドライブ]、[ディスクドライブ]をダブルクリックする。



本機が認識されています。

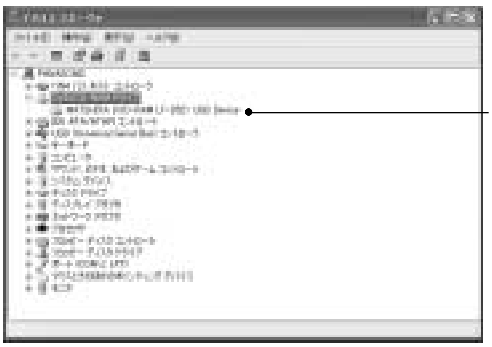
本機のDVD-RAM 側が認識されてい ます。

Windows XP の場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[ハードウェア]を開いて[デバイスマネージャ]をクリックする。

2 右の画面（各装置の接続状況）が表示されます。

3 画面中の[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックする。



本機が認識されています。

本機の取り外しかた

パソコン動作中に本機をパソコンから取り外す場合は、以下の手順で行ってください。

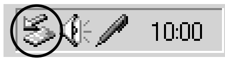
本機を取り外すための操作を行うまえに以下の内容をご確認ください。

（1）本機の動作表示ランプが緑点灯あるいは消灯していること
（2）本機にセットしたディスクから、アプリケーションやデータファイルが開かれていないこと
（3）他のUSB機器がアクセスされていないこと

■Windows 98SE/Me/2000 の場合

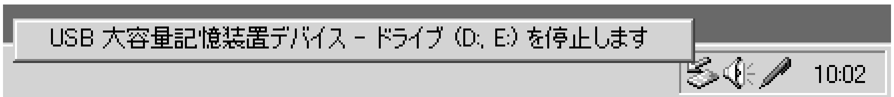
1 タスクトレイに表示されている<u>ハードウェアの取り外し</u>をクリックする

画面は、Windows 2000 の例です。



2 メニューが表示されたら、
Windows 98SE の場合
　［Panasonic USB DVD/CD-ROM - ドライブ (E:,D:)の停止］を
Windows Me の場合
　［USB CD-ROM - ドライブ (D:,E:)の停止］を
Windows 2000 の場合
　［USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(D:, E:)を停止します］をクリックする

※（ ）内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。



画面は、Windows 2000 の例です。

3 下の画面が表示されたら、［OK］をクリックする



画面は、Windows 2000 の例です。

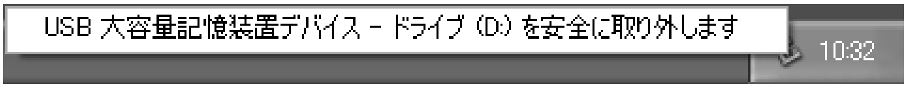
4 USB ケーブルを取り外し、本機の電源をOFFにする

■Windows XP の場合

1 タスクトレイに表示されているハードウェアの取り外しをクリックする

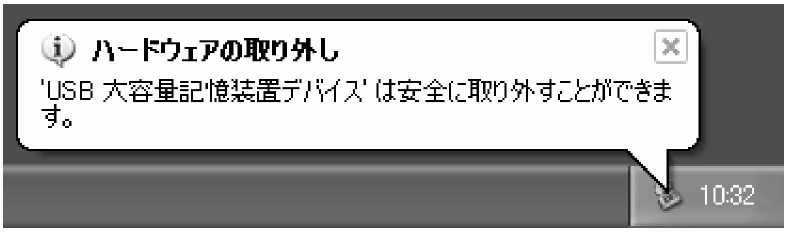


2 メニューが表示されたら、
[USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(D:)を安全に取り外します] をクリックする



※( )内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。

3 下の画面が表示されたら、右上の×印をクリックする



4 USBケーブルを取り外し、本機の電源をOFFにする

DVD-RAM ディスクを入れたまま Windows をシャットダウンまたは再起動を実行するとシャットダウンおよび再起動が正常に行えない場合があります。
(Windows 98 SE/Windows 2000/Windows XP 環境ではこの問題は発生しません)

この問題を避けるために、下記のいずれかの操作を実施してから、Windows Me のシャットダウンまたは再起動を実行してください。

- DVD-RAM ディスクを取り出した後に実行してください。
- 本機を取り外した後に実行してください。
  ※本機の取り外しかたについては、取扱説明書の『本機の取り外しかた(☞ 32ページ)の1〜3』を参照してください。

DVD-RAM ディスクの論理フォーマット

DVD-RAM ディスクにファイルを書き込むためには、論理フォーマットをする必要があります。論理フォーマットをした DVD-RAM ディスクは、フロッピーディスクやハードディスクと同じ感覚でファイルを書き込むことができます。
本機は DVD-RAM ディスクに対して自動交替セクター機能を標準装備しています。この機能は、データ記録時に記録したセクターをベリファイ（確認）して、記録状態の悪いセクターを発見し、ユーザ管理領域外に自動的にデータを退避（交替）させる機能で、より信頼性の高い記録を実現します。

フォーマット形式について

DVD-RAM ディスクのフォーマット形式には、UDF形式とFAT32形式があります。
用途に合わせて、使い分けることをおすすめします。
2.8 GB（8 cm）/ 5.2 GB / 9.4 GB両面タイプのDVD-RAM ディスクについては、片面毎にフォーマットをしてください。

■UDF（Universal Disk Format）形式

DVDの統一標準フォーマットです。ファイルサイズの大きな（画像、音声データ）読み書きを高速で行うことができます。

■FAT32形式

Windows の標準フォーマットで、ハードディスクなどで使用されている論理フォーマットです。

お知らせ

- ディスクタイプ識別データがカートリッジなしディスク記録許可になっていない5.2 GB（両面）/ 2.6 GB（片面）カートリッジなしDVD-RAM ディスクはフォーマットできません。
- DVD-RAM ディスクを使用する場合には、ディスクをセットする前にDLA を無効にしてください。
  DLA を無効にする方法については、DLA のヘルプ等を参照してください。

Windows 2000/XP でのフォーマットソフト（DVDForm）の起動について

- フォーマットソフトをご使用の時は、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログインしてください。
- フォーマットソフトの起動前に、DVD-RAM ディスクを使用中の全てのアプリケーションを終了してください。

Windows 98SE/Me/2000 でのフォーマットソフトの起動



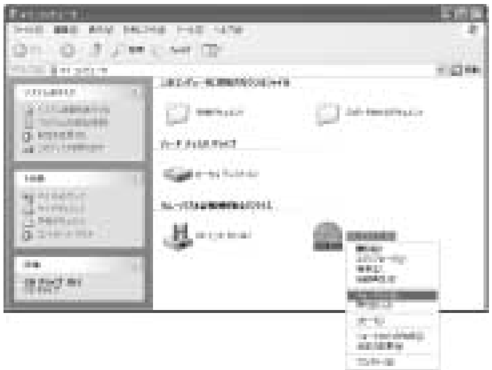
1 フォーマットする DVD-RAM ディスクを本機にセットする

2 ❶ [マイコンピュータ] を開く

❷ DVD-RAM ディスクに割り当てられた [リムーバブルディスク] を、マウスの右ボタンでクリックする

3 メニュー中の [フォーマット] をクリックする

下のフォーマット画面が表示されるので、必要な作業をする。



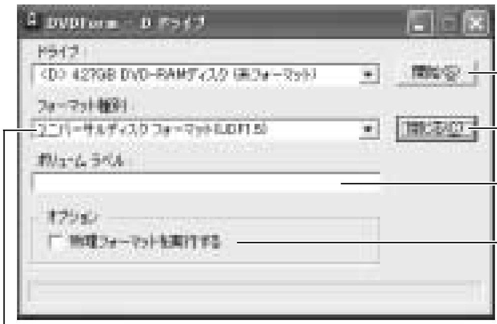
1 フォーマットするDVD-RAM ディスクを本機にセットする

2 ❶ [マイコンピュータ] を開く

❷ 本機に割り当てられたアイコンを、マウスの右ボタンでクリックする

3 メニュー中の [フォーマット] をクリックする

下のフォーマット画面が表示されるので、必要な作業をする。



フォーマットを開始する

DVDForm を終了する

UDF形式を選択したときは、ボリュームラベル名を入力する

- 入力しない場合、"UDF+西暦年+月+日" が自動的に設定されます。

物理フォーマットをする場合に選択する

(通常は、選択する必要はありません)

- DVD-RAM ディスク上の全セクターを検査し、不良セクターの代替処理を行います。
(通常は、4.7 GB/9.4 GB DVD-RAM ディスク、2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM ディスクは1時間程度で、8 cm DVD-RAM ディスクは20分程度で終了します)

▼ をクリックし、フォーマット形式を選択する

(☞36〜38ページ)

推奨フォーマットについて

■PCデータ記録で使用するときは、フォーマット種別“ユニバーサルディスクフォーマット(UDF1.5)”を選択します。

DVD-RAM ディスクでWindows / Mac OS※1などの異なるOS 環境でデータ交換ができます。



1 フォーマット種別で、[ユニバーサルディスクフォーマット (UDF1.5)] を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

3 [開始] をクリックする

※1 UDF1.5形式のDVD-RAM ディスクの読み書きができるのはMac OS 9（2003年6月1日現在）です。

■AVデータ記録で使用するときは、フォーマット種別“ユニバーサルディスクフォーマット(UDF2.0)”を選択します。

4.7 GB/9.4 GB DVD-RAM ディスクをDVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVD-Video レコーダーや同規格準拠のPC用記録ソフトで使用するとき、あるいは8 cm DVD-RAM ディスクをDVD-Video カメラで使用するときのみ選択してください。



1 フォーマット種別で、[ユニバーサルディスクフォーマット (UDF2.0)] を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

3 [開始] をクリックする

お知らせ

- Windows XPの場合、付属のフォーマットソフト（DVDForm）で DVD-RAM ディスクをフォーマットした後で、DVD-RAM アイコンが CD-ROM アイコンに変わることがあります。このような場合は、エクスプローラの [表示] メニューの [最新の情報] を選択して、表示の更新をしてください。

フォーマット形式の説明

■4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	●DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows/Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。 ●UDF1.5形式の DVD-RAM ディスクは、DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD-Video レコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）	●DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD-Video レコーダーや同規格準拠のPC用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。
FAT32	●Windows 95（OSR2※2）/98/Me/2000/XP でサポートされたフォーマットです。 ●FAT32形式のDVD-RAM ディスクは、Windows 95（OSR2※2以外）/Windows NT では使用できません。

■2.6 GB / 5.2 GB DVD-RAMディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	●DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。
FAT32	●Windows 95（OSR2※2）/98/Me/2000/XP でサポートされたフォーマットです。 ●FAT32形式の DVD-RAM ディスクは、Windows 95（OSR2※2以外）/Windows NT では使用できません。

■8 cm DVD-RAM ディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	●DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。 ●UDF1.5形式の DVD-RAM ディスクは、DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD-Video レコーダー、DVD-Video カメラや同規格準拠の PC 用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）	●DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD-Video レコーダー、DVD-Video カメラや同規格準拠の PC 用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。DVD-Video レコーダーや DVD-Video カメラで使用されるディスクは、このフォーマットをしてください。
FAT32	●Windows 95（OSR2※2）/98/Me/2000/XP でサポートされたフォーマットです。 ●FAT32形式の DVD-RAM ディスクは、Windows 95（OSR2※2以外）/Windows NT では使用できません。

※1 UDF1.5 形式のDVD-RAM ディスクの読み書きができるのは Mac OS 9（2003年6月1日現在）です。
※2 システムプロパティの情報が“4.00.950 B”または“4.00.950 C”のOSです。
　[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] を開いて確認できます。

フォーマット形式の説明（つづき）

各OSで使用可能なフォーマット形式とフォーマット直後の使用できる片面の空き容量と使用容量

●4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面全容量は4.7 GB
●2.6 GB / 5.2 GB DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面全容量は2.6 GB
●8 cm DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面全容量は1.4 GBですが、論理フォーマット直後のOSから見た空き容量、使用容量は以下の値になります。

ディスク種別	フォーマット形式	空き容量	OSと使用容量	
			Windows 98SE/Me	Windows 2000/XP
4.7 GB 9.4 GBの片面	UDF1.5	4.26 GB※3	384 KB	282 KB
	UDF2.0	4.26 GB※3	384 KB	282 KB
	FAT32	4.25 GB※3	4 KB	4 KB
2.6 GB 5.2 GBの片面	UDF1.5	2.32 GB	128 KB	158 KB
	FAT32	2.31 GB	4 KB	4 KB
1.4 GB 2.8 GBの片面	UDF1.5	1.3 GB※3	96 KB	92 KB
	UDF2.0	1.3 GB※3	96 KB	92 KB
	FAT32	1.3 GB※3	4 KB	4 KB

※3 当社製4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクや8 cm DVD-RAM ディスクと本機に添付のフォーマットソフトを使用した場合のフォーマット直後のディスク容量です。

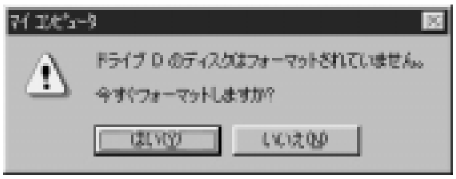
DVDレコーダーで記録されたDVD-RAMディスクについて

DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVD-Video レコーダーやDVD-Video カメラ及び同規格準拠のPC用記録ソフトで記録されたDVD-RAMディスク上には“DVD_RTAV”フォルダーが作成され、このフォルダー内にビデオレコーディング規格の各種ファイルが作成されます。PC上でこのフォルダーやフォルダー内のファイルにアクセスしないでください。

このフォルダー内の一部のファイルは 2 GBを超えているものがあり、容量が 2 GBを超えるファイルは、Windows 98SE の仕様上の制限により、コピーができなかったり、容量表示が正しく表示されなかったりする場合があります。
また、このフォルダーやフォルダー内のファイルを削除、変更すると、DVD-Video レコーダーやPC用記録ソフトで再生ができなくなります。

お願い

● **Windows 98SE/Me で画面上に以下のメッセージが表示され、［はい］をクリックした後に起動される標準フォーマットソフトでDVD-RAM ディスクのフォーマットをしないでください。**



Windows 98SE/Meに付属の標準フォーマットソフトでDVD-RAM ディスクをフォーマットすると、2 GBを超えるFAT16形式となり、後の使用に支障をきたす場合があります。

DVD-RAM ユーティリティの使いかた

本製品には、DVD-RAMディスクユーティリティが付属されています。
DVD-RAMユーティリティは、DVD-RAMディスクに対して以下の機能を提供します。
（1）DVD-RAMディスクの汚れ具合確認
（2）DVD-RAMディスクのソフトウェアライトプロテクトの設定 / 解除

お知らせ

- DVD-RAM ディスクを使用する場合には、ディスクをセットする前にDLA を無効にしてください。
  DLA を無効にする方法については、DLA のヘルプ等を参照してください。

■Windows 98SE/Me/2000 の場合

1 DVD-RAMディスクを本機にセットする

2 ❶ ［マイコンピュータ］ を開く

❷ DVD-RAMディスクに割り当てられた[リムーバブルディスク]を、マウスの右ボタンでクリックする

3 メニュー中の ［プロパティ］ をクリックする



次ページの手順4につづく

■Windows XP の場合

1 DVD-RAMディスクを本機にセットする

2 ❶ ［マイコンピュータ］ を開く

❷ DVD-RAMディスクに割り当てられたアイコンを、マウスの右ボタンでクリックする

3 メニュー中の ［プロパティ］ をクリックする



次ページの手順4につづく

DVD-RAM ユーティリティの使いかた（つづき）

4 [DVD Tools] をクリックする

下の画面が表示されます。

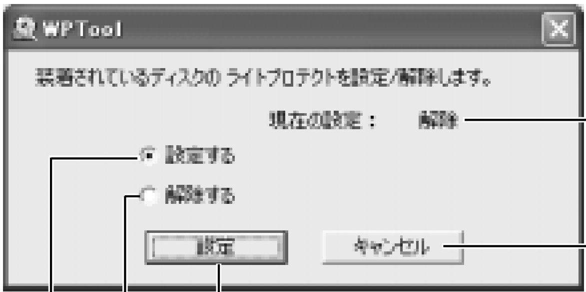


（☞ 41ページ）

（☞ 下記）

ライトプロテクトを設定／解除したい4.7 GB DVD-RAM ディスクや8 cm DVD-RAM ディスクを本機にセットし、上記手順4の画面で［変更］をクリックする。

次の画面が表示されます。



現在装着中のDVD-RAM ディスクのライトプロテクト状態を表示します。

基本画面に戻ります。

選択したライトプロテクトを設定します。（設定をDVD-RAM ディスクに保存します）

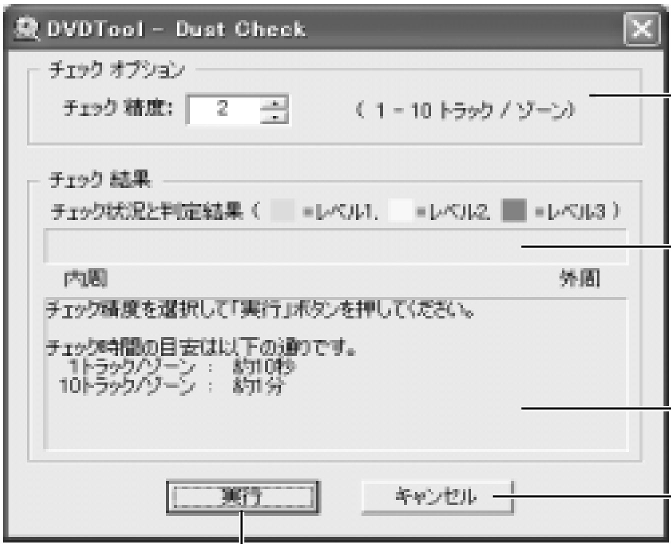
ライトプロテクトを解除します。
DVD-RAM ディスクはリードライト（記録・再生）とも可能になります。

ライトプロテクトを設定します。
DVD-RAM ディスクはリードオンリー（再生専用）になります。

ダストチェックの使い方

表面の汚れを確認したいDVD-RAMディスクをドライブにセットし、前ページ手順4の画面で［汚れ確認］をクリックする。

次の汚れ確認画面が表示されます。



汚れ確認精度を設定します。ディスクの1ゾーンあたりの確認トラック数を指定します。数値を大きく設定するほど精度が上がります。

汚れ確認の実行状況と結果を表示します。レベル値が大きい方が汚れ具合がひどいことを示します。

汚れ確認の結果に対するアドバイスを表示します。

基本画面に戻ります。

汚れ確認を実行します。

汚れが検出されない場合の確認結果例



汚れが検出された場合の確認結果例



お知らせ

- この確認結果は、参考であり、リードライト(記録・再生)動作を保証するものではありません。

お願い

- ディスクおよびドライブをクリーニングしてもレベル2やレベル3の汚れ具合が表示される場合は、傷や粘着性の汚れなどの影響が考えられます。このディスクに記録することは危険と思われますので再生専用として使うことをおすすめします。

ファイルのコピーやフォーマットができないとき

下記の点をお確かめください。その原因と対処方法を以下に示します。

原　　因	対　処　方　法
カートリッジのライトプロテクトタブが「書き込み禁止」になっている。	カートリッジのライトプロテクトタブを解除してください。（☞13ページ）
ディスクにライトプロテクトが設定されている。	ユーティリティソフトを用いて、ディスクのライトプロテクトを解除してください。（☞40ページ）
カートリッジなし状態での記録を未サポートのディスクである。	ディスクによっては、カートリッジなしディスクへの記録をサポートしていない場合があります。 カートリッジに入れてお使いください。
ディスクの汚れなどで記録予備領域（交替領域）を90％以上使用し、本機が自動的に書き込み禁止状態になっている。（この状態の場合、本機前面の動作表示ランプ（緑色）が連続3回1秒毎の周期で点滅します）	再生専用として使うか、ディスクのデータのバックアップをとり、ディスクのお手入れ（☞12ページ）をして物理フォーマットすることをおすすめします。（☞35ページ）

DVD-RAM ディスク以外のディスクの使いかた

使用目的に応じて付属のアプリケーションソフトの中から適当なものを選んで各ディスクをご使用ください。

CD-R、DVD-R ディスク

付属の RecordNow DX（☞43ページ）を使用して、データCD／DVD や音楽 CD の作成、データの書き込みなどができます。

CD-RW、DVD-RW ディスク

DLA（☞43ページ）のフォーマット機能でCD-RW、DVD-RW ディスクをフォーマット後に、ファイル単位でデータを書き込むことができます。またRecordNow DX（☞43ページ）を使用してデータや音楽を書き込むこともできます。

DVD-Video の再生

DVD-Video の再生には、別途再生ソフトが必要です。
DVD-Video を再生するには、本機と DVD-Video のリージョン番号が一致している必要があります。本機のリージョン番号は、工場出荷時に「2」（日本）に設定されています。「2」以外のリージョン番号のDVD-Video を再生するときに確認画面が表示されたら、その指示に従ってください。リージョン番号の設定は合計5回まですることができますが、出荷時に1回目を使用していますので、4回まで可能です。

RecordNow DX の使いかた

DVD-R DVD-RW CD-R CD-RW

本装置は、「RecordNow DX」というアプリケーションを添付しています。
また、Web から「DLA」というアプリケーションをダウンロードできます。用途に合わせてお使いください。

RecordNow DX

CD-R/RW、DVD-R/RW ディスクに、まとめてデータを書き込みます。データのバックアップやデジタル写真のアルバムの作成などに便利です。
あとから追加して書き込むこともできますが、ファイルの更新や削除はできません。
RecordNow DX は、本装置に添付されているCD からインストールしてお使いください。

お知らせ

- RecordNow DX は、著作権を持っているか、もしくは著作権者からコピーの許可を得ている材料の再作成を手助けするように設計されています。著作権を所有していないか、または著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反し、損害賠償やその他の刑罰を課せられることがあります。自分の権利について不明な場合は、法律家にご相談ください。

CD-RW、DVD-RW ディスクをフロッピーディスクやMO のように手軽に使えます。ファイルの更新や削除もできます。
DLA は、本装置に添付されているCD には入っていません。次の方法でWeb からダウンロードしてください。

1 **「RecordNow DX 」を起動します。**

2 **「ヘルプ」メニュー→「Web のテクニカルサポート」の順にクリックします。**
サポートのWeb ページが表示されます。

3 **Web ページ内の「ダウンロード」をクリックします。**
この後は、メッセージに従って操作してください。

お知らせ

- RecordNow DX とDLA を交互に使って同一ディスクにデータの書き込みはできません。一度、どちらかのアプリケーションで書き込みを行ったあとは、同一アプリケーションを使って書き込みを継続してください。
- DLA をDVD-RAM ディスクに対して使用しないで下さい。
DVD-RAM ディスクを使用する場合には、ディスクをセットする前にDLA を無効にしてください。
DLA を無効にする方法については、DLA のヘルプ等を参照してください。

RecordNow DX の使いかた（つづき）

インストールのしかた

1 26ページ、手順2の画面で、[RecordNow DX] をクリックします。

- 「VERITAS RecordNow DX セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 画面の指示に従ってインストールを進めます。

3 インストールが終了したら［終了］をクリックします。

4 「readme」ウィンドウの右上にある［終了］をクリックします。

5 「警告」ウィンドウで［はい］をクリックします。

- パソコン本体が再起動します。

FileSafe の使いかた

DVD-RAM

FileSafe とは…

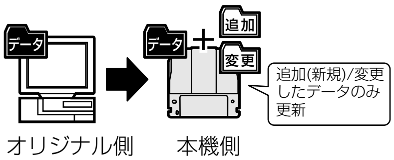
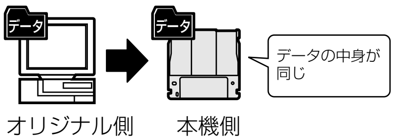
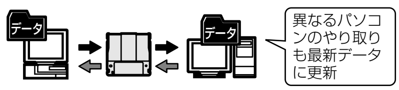
指定したフォルダを自動的にバックアップしたり、内容更新されたフォルダのみバックアップするソフトウェアです。（OSを含むシステム全体のバックアップには使用できません）
必要なファイルを効率よくバックアップすることができます。

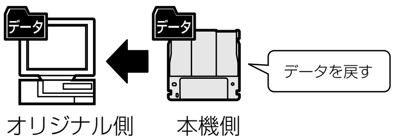
■実際のファイルと同じファイル形式でコピーします。

ジョブを実行すると、本機にセットされたDVD-RAM ディスクのルートディレクトリ上に、ジョブ名と同じ名前のフォルダを作成します。
オリジナル側で選択したフォルダの内容を実ファイル形式でコピーします。
従って、コピーしたフォルダやファイルは、エクスプローラや各種アプリケーションから使用可能です。

■コピー／リストアについて

以下のモードをサポートしています。

ノーマルコピー		指定したオリジナル側フォルダを、本機側にコピーする。 ● 変更ファイルのみコピーを選択すると、初回は指定のオリジナル側フォルダすべてをコピーしますが、2回目以降、新しく作成または変更されたファイルやフォルダのみをコピーします。 ● オリジナル側で削除されたファイルは本機側に残っています。
クローンコピー		オリジナル側とまったく同じ構成でコピーする。（コピー先のデータを全て削除し、オリジナル側を本機側へコピーします）
シンクロコピー		オリジナル側と本機側のそれぞれの追加または変更された内容を、オリジナル側と本機側のそれぞれのフォルダにコピーし、内容を一致させる。（異なるパソコンを常に同じ最新のデータに保つこともできます）

リストア		本機側にコピーした内容を、オリジナル側にコピーしてデータを復元させる。

■自動実行（スケジュール）機能を使用することができます。

“キーボード未使用時に自動実行”、“定期的に自動実行”、“一定時間毎に自動実行” をサポートしています。
必要に応じて、それぞれのデータに最適なスケジュールで自動実行ジョブを登録できます。

■ジョブファイルでコピージョブを管理することができます。

コピーするために必要な設定条件を、ジョブファイルに登録します。
登録後の実行は、このジョブを選択するだけで実行できます。

本ソフトウェアをご使用になるためには、パソコン本体に以下の環境が必要です。

パソコン	FMV シリーズ
OS	Windows 98SE／Me／2000／XP
ハードディスク空き容量	1 MB以上

FileSafe の使いかた（つづき）

DVD-RAM

インストールのしかた

1 26ページ手順2の画面で、
「FileSafe」をクリックして、
右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする



● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 インストール終了後、

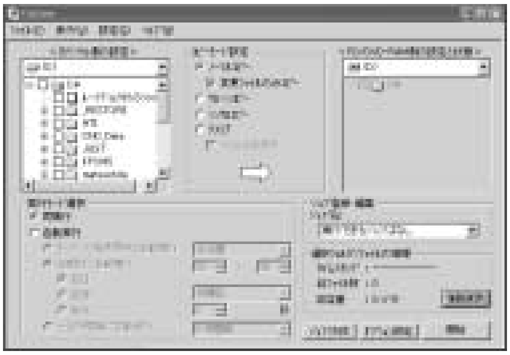
❶ ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択する

❷ ［完了］をクリックする
（パソコンが再起動されます）



● 再起動後に FileSafeが使用可能となります。

［スタート］→［プログラム］→［DVD-RAM］→［FileSafe］→［FileSafe］を選択する



お願い

FileSafe は、ボリュームラベル名でディスクを管理します。従って使用するハードディスクおよび、DVD-RAM ディスクには、必ずボリュームラベル名を入力してください。（☞ 35ページ）

お知らせ

● Windows 2000/XP で FileSafe をご使用の場合は、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンしてください。

操作方法やトラブル回避方法は、ヘルプファイルや電子マニュアルをご覧ください。

Acrobat®Reader（Version 4.0以上）が必要です。詳しくは Adobe 社のホームページをご覧ください。

困ったとき!?

トラブルが発生した場合、まず、以下の点をお調べください。
以下の点をお確かめになり、トラブルが解消されない場合、お買い上げの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

こんなときは	ここをお調べください	参照ページ
トレイが出ない	●本機の電源ケーブルが正しく接続されていますか？ ●本機の電源が入っていますか？	19 17
トレイが入らない	●ディスクが正しくセットされていますか？	20・21
パソコンが起動しない	●本機とパソコンが正しく接続されていますか？ ●パソコンにフロッピーディスクが入っていませんか？	19 ー
パソコンから操作しても本機が動作しない	●本機の電源が入っていますか？ ●本機とパソコンが正しく接続されていますか？ ●DVD-RAMドライバーが正しくインストールされていますか？	17 19 27〜31
本機がWindows上で認識されない	●DVD-RAMドライバーが正しくインストールされていますか？ ☞ Windows XP 以外では、DVD-RAMドライバーがインストールされていない場合、Windows上では、CD-ROMドライブとして認識されます。DVD-RAMドライバーを必ずインストールしてください。	27〜31
DVD-RAM ディスクが使用できない	●フォーマットされていますか？ ●正しいドライブ名にアクセスしていますか？ ●DLA を無効にしていますか？	34〜38 30 43
DVD-RAM ディスクに記録できない	●カートリッジのライトプロテクトタブが「書き込み禁止」になっていませんか？ ●ライトプロテクトが設定されていませんか？ ●DLA を無効にしていますか？	13 40 43
CD-ROM/DVD-ROM が使用できない	●ディスクが正しくセットされ、動作表示ランプが緑色に点灯していますか？ ●正しいドライブ名にアクセスしていますか？	17・20・21 30

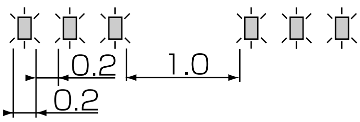
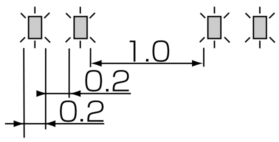
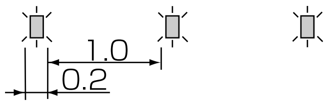
※「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」：0120-950-222（フリーダイヤル）

- おかけ間違いないよう、ご注意ください。
- ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- 営業時間 9：00 〜17：00（土・日・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）

困ったとき!?（つづき）

動作表示ランプが点滅したら

本機は使用中に異常を検出すると、動作表示ランプが緑色に点滅します。

点滅の周期	原　因	対処方法
 3回点滅　単位：秒	ディスクが汚れた状態で使用されたため、記録予備領域（交替領域）を90％以上使用している。この場合、自動的に書き込み禁止状態になります。	読み出し専用として使用する。 または、本機のレンズ、ディスクを専用のクリーニングキットでお手入れし、バックアップを行った後、物理フォーマット（☞35ページ）する。
 2回点滅　単位：秒	本機のレンズ、ディスクが汚れている。 この場合、自動的に書き込み禁止状態になります。	本機のレンズ、ディスクを専用のクリーニングキットでお手入れする。
 1回点滅　単位：秒	本機の内部温度が異常に上昇している。	通風孔をふさいでいる障害物を取り除き、本機の電源を切って自然冷却する。

■処置をされても動作表示ランプが点滅するときは…

お買い上げの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときは…

動作表示ランプの点滅回数をお知らせください。

サポート用ユーティリティについて

付属のCD-ROM には、以下のユーティリティが準備されています。

■ファイルシステムユーティリティ（UDFTool）- Windows 98SE／Me のみ

MS-DOSファイル名の表示の ON/OFF を変更するためのソフトウェアです。

このユーティリティはサポート用に提供しています。通常は使用する必要はありません。
「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」の指示があった場合にのみお使いください。

これらのユーティリティはドライバーソフトのインストール時に、フォーマットソフト（DVDForm）などといっしょにインストールされます。
（インストール先を変更していない場合、以下のフォルダーにインストールされます）
“¥Program Files¥DVD-RAM¥Win9x¥DVD-RAMドライバー”

ソフトウェアのアンインストール

お使いのパソコンにインストールしたドライバーソフト／アプリケーションソフトを削除する場合、以下の方法でアンインストールしてください。

お知らせ

● Windows 2000/XP でのDVD-RAMドライバーのアンインストールは、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名で行ってください。

■Windows 98SE/Me/2000 の場合

1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択する

● [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] を選択してもできます。

2 [アプリケーションの追加と削除] を開き削除するソフトを選択する



Windows 98SE/Me

3 [追加と削除] または [変更/削除] をクリックする

● 画面の指示に従って作業を進めてください。

● 作業終了後、パソコンを再起動してください。



Windows 2000

■Windows XP の場合

1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択する

2 [プログラムの追加と削除] を開き、削除するソフトを選択する



3 [変更と削除] をクリックする

● 画面の指示に従って作業を進めてください。

● 作業終了後、パソコンを再起動してください。

用語解説

UDFフォーマット	Universal Disk Format の略で、DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、CD-RW に採用されているディスクフォーマットです。
USB2.0（インターフェース）	Universal Serial Bus Specification Revision 2.0の略です。従来のUSB1.1と互換性があり、高速転送モードをサポートした、シリアル転送方式です。
USB ケーブル	USB 装置を接続するケーブルです。
インストール	デバイスドライバーなどのソフトウェアをパソコンのシステムに登録する作業をいいます。
論理フォーマット	初期化（イニシャライズ）とも呼びます。DVD-RAM ディスクがパソコンシステムで読み書きできるよう、システムの各種管理情報をディスクに書き込みする作業を言います。
ドライバーソフト	周辺機器の動作に必要な情報を OS に提供したり、動作を管理するソフトウェアです。「デバイスドライバー」や単に「ドライバー」と呼ばれることもあります。
物理フォーマット	ディスク定義情報や欠陥管理情報の書き込みを行い、セクターレベルでのアクセスを可能にする動作のことです。DVD-RAM ディスクは全面検査なしで数十秒、全面検査ありで約60分程度の時間を要します。
相変化書換型	ディスク上の記録膜（結晶状態か非結晶状態）の反射率の差を利用し、読み書きをするタイプの光ディスクです。

主な仕様

■DVD マルチドライブユニット（USB）

電源［付属ACアダプター（品番：N0JZZY000005使用）］	AC100 V　50/60 Hz
消費電力	13 W（本体電源スイッチ「切」の時：1W）

インターフェース※7		USB2.0
		High Speed モード（最大480 Mbps（理論値））
		Full Speed モード（最大12 Mbps（理論値））
シークタイム（平均値）	DVD-RAM	120 ms
	DVD-R	120 ms
	DVD-RW	120 ms
	DVD-ROM	110 ms
	CD-ROM	110 ms
	CD-R	110 ms
	CD-RW	110 ms
連続データ転送速度※8（1 kB/1,000 B）	DVD-RAM	1,385 kB/s（2.6 GB）　2,770 kB/s（4.7 GB）
	DVD-R	2,770 kB/s（記録時）
	DVD-RW	1,385 kB/s（記録時）
	DVD-ROM (Single)	16,620 kB/s max.（最大12倍速・再生時）
	DVD-ROM (Dual) /R/RW DVD-Video	8,310 kB/s max.（最大6倍速・再生時）
	CD-R	1,800 kB/s max.（最大12倍速・記録時）
	CD-RW	1,200 kB/s max.（最大8倍速・記録時）
	CD-ROM/R	4,800 kB/s max.（最大32倍速・再生時）
	CD-RW	3,600 kB/s max.（最大24倍速・再生時）
	CD-DA	600 kB/s max.（4倍速・再生時）
バッファー容量		2 MB
設置方向		横置き／縦置き（ただし、縦置きでは8 cmディスクは使用不可）
許容動作温度		5 ℃～35 ℃
許容動作湿度		10 %RH～80 %RH（結露なきこと）
外形寸法（幅×高さ×奥行）		168×50×246.5 mm（突起部除く）/176×53.5×249 mm（最大外形寸法）
質量		約 1.7 kg
対応ディスク※6		DVD-RAM※2 ※5 [9.4 GB、5.2 GB、2.8 GB※4](両面) [4.7 GB、2.6 GB、1.4 GB※4](片面)（80 mm、120 mm）
		DVD-R（for General、Ver. 2.0）※2※5 [4.7 GB]（120 mm）
		DVD-RW（Ver. 1.1）※2　[4.7 GB]
		DVD-RW（Ver. 1.0）※2　[4.7 GB]
		DVD-ROM、DVD-Video、DVD-R ※1（80 mm、120 mm）
		CD-R、CD-RW（80 mm、120 mm）
対応フォーマット		CD-DA ※3、CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2
		CD-Extra、CD TEXT、Photo CD（マルチセッション対応）、Video CD

※1 DVD-R　3.95 GB、4.7 GB for Authoringの、ディスクアットワンス方式で書き込まれたディスクに対応しています。
※2 ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。　両面ディスクは同時に両面の記録再生はできません。
※3 CD-Gには対応していません。
※4 カートリッジには対応していません。
※5 DVD-RAM、DVD-R (for General)ディスクは、推奨メディアをご使用ください。
※6 ディスク・ドライブ・記録形式等の状況によっては、本機の記録・再生性能を保証できない場合があります。
※7 USBケーブルは、付属のものをお使いください。
※8 USB1.1接続時のFull SpeedモードではCD-R/RWの4倍速記録・再生性能までしかUSBバス上で実現できません。DVD-RAM、DVD-R/RWの記録再生やCD-R/RWの8倍速以上の記録再生性能をUSBバス上で実現するためには、USB2.0/High Speedモードにする必要があります。

※定格仕様及び外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更することがあります。

Memo

Memo

FMV SERIES
DVD マルチドライブユニット（USB ）
（FMDVM-211 ）
取扱説明書

発 行 日　　2003 年 6 月
発行責任　　富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

FUJITSU

このマニュアルは再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK ™

Trademark of American Soybean Association

大豆油インキを使用しています。

VQT0E99-01

M0603SF1073